《報道資料》

2018年 2月5日
『母の日参り』パートナーシップ事務局

『母の日参り』パートナーシップ 2018年度 共同企画

第1回『母の日参り』手紙コンクール開催

中村獅童さんを選考委員長に迎え、“亡き母への手紙”を公募

■「母の日」にまつわる新たな祈りの習慣、**『母の日参り』**の普及・浸透をめざし有志企業・団体12者が連携する**『母の日参り』パートナーシップ**では、このたび今年の「母の日」(5月13日)に向けて、**第1回『母の日参り』手紙コンクール**の開催を発表。選考委員長に歌舞伎俳優の**中村獅童さん**を迎え、亡き母への想いを綴った手紙作品を広く一般から公募する取組みを開始いたしました。
応募締切は3月31日(土)、受賞発表は4月末頃の予定です。

■ 今回の公募では、“亡き母への手紙”をテーマに、400字程度の書簡形式で表現された未発表・オリジナルのノンフィクション※1作品を、同事務局への郵送もしくは『母の日参り』公式サイト(https://hahanohi-mairi.jp/)上の応募フォームにて受け付けます。募集期間は2月5日(月)から3月31日(土)までとし、応募作品中8篇に対し〈金・銀・銅〉の各賞を授与いたします。

※1:実際に亡くなられている実母・義母・養母、あるいは母親的存在の方に宛てた手紙作品に限ります。

選考委員長の中村獅童さんをはじめ、マーケティングライターとしてご活躍の牛窪 恵さん、パートナーシップ代表2者からなる選考委員会では、けっして優劣をつける審査でなく、各委員の特に心惹かれた、印象に強く残った作品の選定にあたり、みごと〈金賞〉に輝いた受賞作品については4月末頃に開催予定の『母の日参り』パートナーシップ共同プレス発表会※2の席上、中村獅童さんの朗読により発表いたします。

※2:共同プレス発表会の詳細については後日、報道各位にご案内いたします。

さらに受賞された全作品は『母の日参り』公式サイト上で5月上旬頃より公開の予定です。

選考委員のご紹介

■ 選考委員長

中村 獅童さん（歌舞伎俳優）

昭和47年9月14日生まれ。東京都出身。

祖父は昭和の名女形と謳われた三世中村時蔵。父はその三男・三喜雄。
叔父に映画俳優・萬屋錦之介、中村嘉葎雄。

8歳で歌舞伎座にて初舞台を踏み、二代目中村獅童襲名。

中村獅童さん〈応募作品に対する期待〉メッセージ

母のことを想うと
生きる勇気と希望がわき出てくる
永遠であり　かけがえのない存在である母
亡くなった今だからこそ伝えたい言葉があります
そんな想いを抱えた皆様からの素敵な作品に
出会えることを楽しみにしています

■ 選考委員

牛窪 恵さん（マーケティングライター）

1968年東京生まれ。日大芸術学部 映画学科（脚本）卒業後、大手出版社に入社。フリーライターを経て、2001年、マーケティングを中心に行う㈲インフィニティを設立。トレンド、マーケティング関連の著書多数。「おひとりさま（マーケット）」（05年）、「草食系（男子）」（09年）は、新語・流行語大賞に最終ノミネート。

小仲 正克（株式会社日本香堂ホールディングス 代表取締役社長）

宮島 浩彰（株式会社日比谷花壇 代表取締役社長）

第1回『母の日参り』手紙コンクール 募集要項

名　　称	第1回『母の日参り』手紙コンクール
主　　催	『母の日参り』パートナーシップ事務局
内　　容	“亡き母への手紙”をテーマに、400字程度の書簡形式で表現された未発表・オリジナルのノンフィクション作品を募集(応募数自由)。 応募作品の中から〈金賞〉1篇・〈銀賞〉2篇・〈銅賞〉5篇を選定し、発表します。 ※実際に亡くなられている実母・義母・養母、あるいは母親的存在の方に宛てた手紙作品に限ります。 ※応募作品の著作権は主催者に帰属するものとします。
応募期間	2018年2月5日(月)～3月31日(土)
応募方法	事務局宛てに郵送(ハガキ・封書)、または『母の日参り』公式サイト上の応募フォームより。
応 募 先	《郵 送》　〒105-0011 東京都港区芝公園1-8-21　芝公園リッジビル5F　公募ガイド社内 「母の日参り」手紙コンクール係 《サイト》　https://hahanohi-mairi.jp/
必要事項	手紙作品、氏名、ペンネーム、年齢、性別、郵便番号、住所、電話番号
賞／副賞	〈金賞〉10万円商品券 1名、〈銀賞〉5万円商品券 2名、〈銅賞〉2万円 商品券 5名
選考委員	〈選考委員長〉中村獅童さん（歌舞伎俳優） 〈選考委員〉　牛窪 恵さん（マーケティングライター）、 小仲 正克（株式会社 日本香堂ホールディングス　代表取締役社長）、 宮島 浩彰（株式会社 日比谷花壇　代表取締役社長）
結果発表	〈金賞〉受賞作は4月末頃に開催予定のプレス発表会の席上、中村獅童さんの朗読により発表。全受賞作品は『母の日参り』公式サイト上で5月上旬頃より公開の予定です。
お問合せ	《TEL》　03-5405-2063（平日10～17時） 《メール》　hahanohi-mairi@koubo.co.jp

本件に関するお問合せ先

『母の日参り』パートナーシップ事務局（担当：吉野）

〒104-8135 東京都中央区銀座4-9-1 ㈱日本香堂 内

TEL.03-3541-3473　FAX.03-3541-3579

E-mail：k-yoshino@nipponkodo.co.jp

《報道資料》

2018年 2月5日
『母の日参り』パートナーシップ事務局

「母の日」の“新たな祈りの習慣”を呼びかける異業種共同体

『母の日参り』パートナーシップ 2018年度キックオフ発表会を開催

2月5日(月)、築地本願寺・インフォメーションセンターにて

■「母の日」にまつわる新たな祈りの習慣、**『母の日参り』**の普及・浸透をめざし業界の垣根を越えて結成された**『母の日参り』パートナーシップ**では、2018年度活動のスタートにあたり、このたび2月5日(月)、築地本願寺(東京都中央区)の新設間もないインフォメーションセンターにおいて**「キックオフ発表会」**を開催。

昨年まで同活動を推進してきた10者(5企業・5団体)に加え、今年から**日本郵便㈱**と**(一社)花の国日本協議会**の新メンバー参加が披露され、一段と公共性を増したソーシャル・キャンペーンの進化を印象づけると共に、共通のシンボル・ロゴを掲げて生活者に『母の日参り』を呼びかけるコンタクト・ポイントの拡充や、メンバー各者の強みを活かした商品開発、提案訴求に向けての決意と展望が表明され、『母の日参り』への共感・実践の広がりにこれまで以上の成果を予見させる、“パートナーシップ新起動”の会見となりました。

さらには“時代の空気づくり”に向けた共同PR企画として、亡き母への想いを綴った書簡作品を一般公募する**「手紙コンクール」**の新設(※詳細別紙)も打ち出され、パートナーシップが先導する『母の日参り』ムーブメントの今後ますますの盛り上がりに大きな期待が寄せられます。

■『母の日参り』パートナーシップ2018年度キックオフ発表会 実施概要

開催日時：2018年 2月 5日(月) 13:30～14:30

会　場　：築地本願寺 インフォメーションセンター 多目的ルーム

出席者　：
- 株式会社 日本香堂ホールディングス 代表取締役社長 小仲 正克
- 紀州農業協同組合 営農対策部 部長 上山 幸一
- 株式会社 日比谷花壇 執行役員 販売企画部 部長 中山 真吾
- 一般社団法人 PRAY for (ONE) 理事 上野 國光
- 一般社団法人 全国優良石材店の会 代表理事 吉田 剛
- 一般社団法人 日本石材産業協会 会長 射場 一之
- 株式会社 亀屋万年堂 営業部 次長 前田 直孝
- 株式会社 清月堂本店 営業部 部長 宇野 祐介
- サントリーフラワーズ 株式会社 取締役 国内ビジネス統括部長 福島 浩幸
- 一般社団法人 花の国日本協議会 事務局長 和田 幸一
- 日本郵便 株式会社 専務執行役員 大澤 誠

※「生活協同組合 コープさっぽろ」は都合により欠席

■ メンバー各者 2018年度の活動展望　概要

株式会社 日本香堂

テレビCMを中心とした広告出稿とシンボル・ロゴを配した店頭什器展開の両面から『母の日参り』のシーズナル訴求に傾注。“カーネーションの香り”のお線香に「ミニ寸」サイズの新商品を投入、習慣定着の裾野拡大へ。

JAグループ和歌山

「変わらぬ心」を花言葉に持つスターチスを栽培する県下の生産者達から広がった『母の日参り』取組みの輪。街頭での花束配布、花卉市場プロモート、全国JAへの横展開も主導し、「母の日」の墓参習慣を呼びかける。

株式会社 日比谷花壇

ショッピングサイト「hibiyakadan.com」や情報ポータルサイト「母の日コム」での提案を充実させる一方、カジュアルブランド店「Hibiya-Kadan Style」の一部を『母の日参り』強化店舗としてリアルな生活動線上での訴求にも注力。

一般社団法人 PRAY for (ONE)

業界・組織の垣根を越え「祈り鶴」をシンボルに“小さな祈り”を呼びかける同プロジェクトでは、『母の日参り』の意義に共鳴し、中核組織下の加盟企業への発信・啓蒙を展開。今期はさらに具体的な取組み参加へと誘引。

一般社団法人 全国優良石材店の会

亡き母への畏敬と感謝を発祥とする「母の日」の心を大切に、ユーザー配布冊子3万部への広報や会員店頭でのポスター掲出、年間80万の訪問者を数えるホームページやFBを通じて『母の日参り』の普及に取り組む。

一般社団法人 日本石材産業協会

我が国の貴重な文化財産である「お墓参り」への共感・実践を呼びかける年間テーマのひとつに『母の日参り』を採択。ポスター作成の上、1,200社を超える加盟企業を通じて地域の寺社・公共施設での掲出をプロモート。

株式会社 亀屋万年堂

“お菓子を通じて世の中に笑顔、安らぎ、人と人との幸せなつながり提供する”を理念とする同社では、今期『母の日参り』PRの活動領域を、ECサイト中心から店舗告知、地域密着型の広報、専用商品化にまで拡大。

株式会社 清月堂本店

母の日は、亡き母にお線香を供え、お菓子を食べながら、母との思い出に浸ってほしいとの想いから生まれた和菓子とお線香の詰合せ『母の日参りセット』の拡売に向け、顧客への情報発信と売場での告知展開に傾注。

サントリーフラワーズ 株式会社

「永遠の幸福」の花言葉を持つ、世界で唯一の青いカーネーション「ムーンダスト」を通じて『母の日参り』普及に取り組み、全国の切花市場・生花店へのポスター配布やブログ・HP特設ページでの生活者発信に努める。

一般社団法人 花の国日本協議会

花業界の生産・流通・小売と、花に関わる団体・個人を会員とする同協議会では、『母の日参り』に関する情報配信はもとより、印刷物やダウンロード利用のツール提供により会員の自発的なプロモーションを強力サポート。

日本郵便 株式会社

手紙文化の振興に取り組んでいる日本郵便として、今期からスタートする“亡き母”に宛てた手紙コンクールの意義に賛同。その盛り上げへの協力を通して『母の日参り』パートナーシップの普及活動に貢献していきたい。

生活協同組合 コープさっぽろ

道内160万の組合員、108の店舗網を擁し、生活催事を基軸としたプロモーションを大切に考える同協では、『母の日参り』という「母の日」の新たな価値の提供に向け、今期も店舗事業・宅配事業ともに取組みを継続。

■『母の日参り』パートナーシップとは

「母の日」は、100余年前のアメリカで亡き母を偲ぶ一人の女性の呼びかけから生まれたと伝えられます。
日本でも戦後の1947年、アメリカに倣って「5月の第2日曜日は母の日」と制定され、以来、長きにわたり母親に日頃の感謝を表す“ギフト記念日”として親しまれてきましたが、近年、記念日の原点回帰を想わせるように、亡き母の墓前を訪ねる『母の日参り』が広がりを見せています。

㈱日本香堂の調査※3によれば、40代以上の男女生活者におけるゴールデンウィークから母の日にかけての墓参実践率は、2007年－2017年比較で約1.7倍にも拡大しており、そこには母親を見送った世代で〈モノ〉に代わって〈祈り〉を贈る、新たな母の日文化の芽生えが窺えます。

※3:「お墓参りに関する調査」(2008年1月)・「母の日のご供養に関する意識・実態調査」(2017年3月)、全国・40代以上・男女対象のインターネット調査

長寿社会の我が国に生まれた『母の日参り』の美風を、さらに広く社会に伝えていこうと、業界の垣根を越えた有志企業・団体により結成された共同体が『母の日参り』パートナーシップであり、2018年度は12者にまでメンバーの輪が広がっています。

メンバー各者は互いの取組みにエールを送り合いながら『母の日参り』普及に向けてそれぞれの活動を展開すると共に、“時代の空気づくり”に向け共同してPR活動に当たるとし、今年からスタートの『母の日参り』手紙コンクールもその公式活動のひとつに位置づけられるものです。

本件に関するお問合せ先

『母の日参り』パートナーシップ事務局（担当：吉野）
〒104-8135 東京都中央区銀座4-9-1 ㈱日本香堂 内
TEL.03-3541-3473　FAX.03-3541-3579
E-mail：k-yoshino@nipponkodo.co.jp